

第7章 取組項目まとめ

表- 16 取組項目の課題と具体的対策

取組項目		課題	具体的対策	記載頁	
安全・安心	浸水対策	雨水施設整備延長比率のさらなる向上	雨水施設の整備を継続的に実施し、平成 37 年度(2025 年度)には 83.0%とします。	P28 ～ P29	
		浸水対策必要地域の解消	浸水対策必要地域の残り 3 地域の整備を平成 31 年度(2019 年度)までに完了させます。		
		武庫川ポンプ場と西田川ポンプ場の建替更新	武庫川ポンプ場は平成 31 年度(2019 年度)までに改築工事を実施します。西田川ポンプ場は平成 36 年度(2024 年度)以降に改築工事を実施します。		
		雨水渠データベースの整備	平成 32 年度(2020 年度)までに雨水渠データベースを構築して現況の雨水排水系統を的確に把握し、豪雨時の浸水個所の抽出を行います。		
		内水ハザードマップの作成	下水道管渠からの浸水被害について予測し、平成 32 年度(2020 年度)までに内水ハザードマップを作成します。		
	地震対策	重要な汚水管路の耐震化の推進	重要な汚水管路を対象に、優先順位を付けて耐震化に取り組みます。	P30 ～ P31	
		総合地震対策計画の策定	平成 31 年度(2019 年度)までに総合地震対策計画を策定し、優先的に耐震化を図る施設を抽出し、耐震化までに期間を要する箇所は減災対策を講じます。		
	環境との共生	老朽化対策	管渠改善率の向上	TV カメラ調査を継続的に実施し、劣化の見られた管渠の改築等を早期に完成させます。	P32 ～ P33
			ストックマネジメントシステムの構築	平成 32 年度(2020 年度)までにストックマネジメントシステムを構築し、改築や修繕を適切かつ計画的に実施します。	
普及対策		下水道(汚水)人口普及率の向上	宝塚市私道排水設備布設工事助成制度を継続します。	P34	
		水洗化率の向上	宝塚市水洗便所改造資金助成制度を継続します。		
基盤の強化	経営健全化	長期的な経営計画の策定	経営戦略を策定し、本戦略に基づき、経営の健全化、安定化に努めます。	P35 ～ P36	
		事務、事業のさらなる効率化と簡素化	汚水管路と雨水渠のデータベースを構築します。合理的な発注制度(電子入札)を導入します。		
		民間活用の検討	維持管理業務包括委託や、大規模更新工事への PFI 等の導入について検討します。		
		組織の見直し、適正な人員配置の検討	現状の組織や業務等を見直し、簡素で機能的な組織の編成に努めます。		
		職員の資質向上	総合的な人材育成システムの構築に取り組み、職員の意識改革や意欲の向上を図ります。		
		技術の継承	技術職員を確保し、事業遂行に必要な知識や技術を継承するための研修の充実を図ります。		
		広域化の検討	水質検査等について近隣の自治体間との連携について検討します。		
	市民参画	コミュニケーションの充実	上下水道モニター会議や出前講座の内容を充実し、市民の下水道の「自分ゴト化」の醸成を目指します。	P37 ～ P38	
浸水対策への参画		市民による「自助」や「共助」に取り組むことができる仕組みを構築していきます。			